



一般社団法人 日本インターベンショナルラジオロジー学会 2025 年度 Bayer 研究助成制度のご案内

一般社団法人 日本インターベンショナルラジオロジー学会(埼玉県東松山市、理事長:山門 亨一郎、以下「日本 IVR 学会」)では、「2025 年度-Bayer 研究助成制度」の募集を、本年 7 月 1 日より開始します。

日本 IVR 学会-Bayer 研究助成制度は、本学会に所属する会員諸氏への教育研修事業の一環として、IVR の発展に寄与する若手会員の育成及び研究の促進を目的に設立され、バイエル薬品株式会社(大阪府大阪市、代表取締役社長:イン・チェン、以下「バイエル薬品」)が資金提供を行っています。

研究対象は、IVR に関し本研究助成制度の目的に合致するものとしますが、バイエル薬品を含め、特定の企業の医薬品・医療機器に特化した研究、及びバイエル薬品が提供している他の助成制度に応募した研究は対象外です。

応募期間は 2025 年 7 月 1 日から 10 月 31 日まで、選考は日本 IVR 学会理事会が行います。助成件数は 2 件前後で、総額 100 万円(選考件数に応じ配分)を助成します。

本制度の応募資格、応募方法等詳細については、日本 IVR 学会ホームページにてご確認ください。

<https://www.jsir.or.jp/>

2024 年度 Bayer 研究助成の対象研究は次の通りでした。

氏名	所属	研究課題	助成額
里村 洋樹	大阪大学医学部附属病院 放射線診断・IVR 科	顎動脈を介した塞栓物質投与による難治性アレルギー性鼻炎に対する治療効果に関する検討	¥500,000
和田 玲緒名	兵庫医科大学病院 放射線科	マウス肝動脈塞栓術モデルの開発とトランスレーショナル・リサーチへの応用	¥500,000

参考情報

一般社団法人 日本 IVR 学会について

日本 IVR 学会は、1982(昭和 57)年に設立された日本血管造影・IVR 研究会を前身として、日本血管造影・IVR 学会として 1995(平成 7)年に設立されました。2006(平成 18)年に現在の学会名に改称し、2010(平成 22)年 3 月 1 日には一般社団法人となりました。



低侵襲で患者への負担が少なく、治療効果が高い IVR とこれに関連する分野の学術並びに技術の発展を図るとともに、国内外の研究と連携し、また国民への啓蒙活動を行い、もって人類の福祉に貢献することを目的としています。これに資するため、学術集会やセミナーの開催、学会誌の発行といった活動を行っています。詳しくは <https://www.jsir.or.jp/> をご参照ください。

バイエルについて

バイエルは、ヘルスケアと食糧関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。私たちのミッション「Health for all, Hunger for none (すべての人に健康を、飢餓をゼロに)」のもと、バイエルの製品とサービスを通じて、世界人口の増加と高齢化によって生じる重要課題克服への取り組みをサポートすることで、人々の生活と地球の繁栄に貢献しています。バイエルは、持続可能な発展を推進し、事業を通じて良い影響を創出することに尽力しています。同時に、収益力を高め、イノベーションと成長を通して企業価値を創造することも目指しています。バイエルブランドは、世界各国で信用と信頼性および品質の証となっています。2024 年のグループ全体の売上高は 466 億ユーロ、従業員数は約 93,000 名、研究開発費は 62 億ユーロです。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル薬品株式会社について

医療用医薬品、コンシューマーヘルスの各事業を通じて、日本の患者さんのための治療に変革をもたらす持続可能な取り組みを推進しています。医療用医薬品部門では、アンメットメディカルニーズの高い循環器・腎・代謝領域、オンコロジー領域、眼科領域などのスペシャリティ領域、画像診断領域にフォーカスし、革新的医薬品の提供を通じて高齢化が進む日本の患者さんの健康寿命の延伸と QOL の向上に努めています。コンシューマーヘルス部門では、赤ちゃんの「人生最初の 1000 日」に適切な栄養を届けるため、女性の妊娠準備と妊娠期間を支援するサプリメントなどに注力しています。詳細は www.pharma.bayer.jp, [Facebook](#), [YouTube](#) をご参照ください。